

エミユ・ラクサイ

新商品はランタンカバー

新事業で新型コロナ禍を打開

刺しゅう・2次加工の
エミユ・ラクサイ（京都
市）は、新型コロナウイ
ルス禍で既存事業が打撃
を受ける中、従業員が主
体的にアイデアを出して

開発したランタンカバー
など新商品の開発・自販
や新規事業に取り組んで
いる。クラウドファンデ
イング（CF）などを積
極的に活用し、新型コロナ

禍による市
況低迷の打開
を目指す。
新型コロナ
禍でアパレル
業界が大きな
打撃を被った
ことから、同
社の主力事業
である刺しゅう・2次加工
も2020年
度（21年3月
期）は受注量
が減少した。
自販する付け

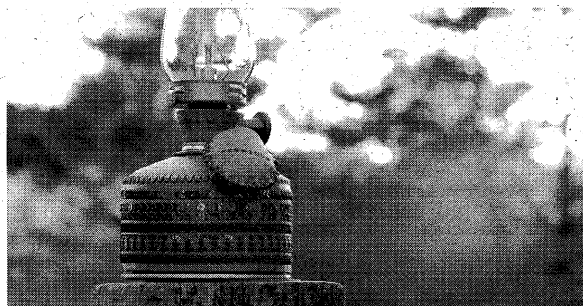
襪製品「ソコルテ」も主
力販路が百貨店のため店
舗休業・時短営業や外出
自粛の影響を受ける。
こうした状況を打開す
るため、自社の刺しゅう
・2次加工・縫製技術を
活用した新商品の開発に
取り組む。その一つとし
て成果が上がりつつある
のがキャンプ用ランタン
のカバー。サイバーエー
ジェントのCFプラットフォーム「マクアケ」を
通じて商品化したところ
好評を博した。

近年、若い女性などの
間でキャンプがブームと
なっているが、キャンプ
用具は実用品のためデザ
イン性の高いものが少な
い。これに着目した同社

は、ランタンのガスボン
ベに被せるファッショ
性の高いカバーを開発し
たところ人気を集めた。
CFでの成功に続いてイ
ンフルエンサーとタイア
ップした商品企画も進
む。同社では「アテピッ
ク」ブランドとして立ち
上げ、ネット通販など消
費者への直販で事業化を
進める。

遊休資産を活用した新
規事業にも取り組む。保
有する建屋の2階スペー
スを利用し、小学生を対
象とした放課後保育事業
「ベストスペ」を4月か
らスタートさせる。放課
後保育と学習塾（英語、
習字、自然探求の3科目
を開講予定）を融合させ
ることで生活習慣の指導
を含めた「放課後の学び
空間」を地域社会に提供
する。

駒嵐美佐子社長は「ど
の商品、事業も従業員が
主体的にアイデアを出す
ことで生まれた。新型コ
ロナ禍で依然として環境
は厳しいが、従業員が現
状を「自分事」として打
開しようとする意識が高
まってきた」と手応えを
感じている。



SNSでも「映える」アイテムとして評
価が高まるランタンカバー「アテピック」

を指す。
新型コロナ
禍でアパレル
業界が大きな
打撃を被った
ことから、同
社の主力事業
である刺しゅう・2次加工
も2020年
度（21年3月
期）は受注量
が減少した。
自販する付け